

(採)

シヤマガマズミ，サワフタギ，ホツツジ，キジノオシタ，ムシカリ，オオキジノオシタ，
サワシバ，ホナガクマヤナギ，ヤマソテツ，クラマゴケ，キヨクキシタ，クロバナヒキ
オコシ，ミヤマハハソ，マツブサ，ホウチャクソウ，アフラチヤン，ヤマジノホトトギス，
スミレサイシン，トウケシバ，タガネソウ，ウリハタカエデ，アカネ，クサソテツ
オニヒカケワラビ，コウヤボウキ，ササクサ，コクサギ，イヌガシソク，
山を下りたところの川ふちにオオバアサカラが一本見られた，堀先生によればこの山で
産することが、故細井与三石工門氏により知られていたもので、今確認せられてうれしい
との事である。

萱谷部落を経て喜谷部落に向う。ここには五分市本山の別荘白雲荘があり、昔からの東
真野の沼沢地としての姿を存している。ここでは

ミズゴケ，サワギキヨウ，ヘラオモタカ，ミズユキノシタ，イトイヌノヒケ，カキラン，
キンコウカ，サフヒヨドリ等が見られた。なおこの附近の荒地では、
ハイヌメリ，コウガイゼキショウ，テンソキ，コアセガヤツリ，カワラケツメイ，ホタルイ，
ヤマイ，シカクイ，コシンジュガヤ，ウシクク，ヒメシタ，フタバムグラ，ノリウツギ，
ハンノキ，ザイフリホク，ノイバラ，イソノキ，ハネミイヌエンジユ等も見られた。

(寒蝉集一記)

足羽郡一乗滝方面植物採集記

9月30日午前8時30分県バス福井駅を出た一行は河原筋でバスを降り早速探集に
とりかかる。風一つない秋日和に恵まれた絶好の探集会で常連の外に中学生や女の先生も
大えて一同手当り次第に植物と取組む。河原筋附近は山麓と河原の合流地点で山地と平地
の植物が入り交っている。

イスコウジュ，ヒメジン，キツネノマゴ，アシボン，チジミザサ，コフナクサ，チガヤ，
スズメノヒエ，ナルコビエ，チカラシバ，カゼクサ，アフラススキ，トダシバ，スカキ
ビ，キンエノコロ等をはじめとして。

メナモミ，オオオナモミ，ヒメムカシヨモギ，オオアレチノギク，オトコヨモギ，カワ
ラヨモギ，メドハギ，ヤスマメ，クズ，ヤハズソウ，コマツナギ，イノコズチ，ヌスビ
トハギ，ミズヒキソウ，キンミズヒキ

タデ科では、

イヌタデ，マナギタデ，オオイヌタデ，ホントクタデ，サクラタデ，ハナタデ，ミチャナギ，アキノウナギツカミ，ミゾソバ，トケソバ等が咲き散っており。その他、

アメリカセンダンクサ，カラムシ，ノフドウ，エビスル，ヌルテ，ウルシ，ナワシロイチゴ，オオマツヨイクサ，等採集されたが余り度ったものはなかった。

安波賀中島附近の平地に出ると福井市近傍と殆んど同じような植物ばかりが多く、アキメヒジワ，ヒメクタ，ヒメテンツキ，カヤツリクサ，カワラスカナ，タマガヤツリ，ホシクサ，イボクサ，キカシクサ，アブノメ，コナギ，トキンソウ，ハナイバナ，コニシキソウ，ツメクサ，カタバミ，ケンノショウコ，ミゾソバ，トケソバ，イヌタデ，オオイヌタデ，ハナタデ，アキノウナギツカミ，エノコロクサ，ミズヒキタサ，キンミズヒキ，オランタハツカ，ボントクタデ等が~~未熟~~され、エウゼンギク（栽培），ヨメナ，ノコンギクの花も咲いていた。

安波賀中島より県道をそれで山添いに歩くことにした。越美北線の道床から山麓に入ると又植物も随分度って、特にフュザンショウの採集は本日の最大の収穫となつた。これは本県では、二三ヶ所しか知られていなかつたものである。この収穫に気をよくした一同は勇を鼓して採集に熱中したためか、この山麓地帯の収穫は實に見事で本日の山であつた。次に採集した順に挙げて見る。

フエイチゴ，トリアシショウマ，クサニワトコ，サクラタデ，ケンホナシ，ハクロソウ，タツナミソウ，タチシノフ，サンインヒキオコシ，アキノウナギツカミ，オランタハツカ，タンドボロギク，クワクサ，カジノキ，ウラボシノコギリシタ，ミツバツツギ，カワミドリ，オニクルミ，オオアラススキ，サンシチソウ，フュザンショウ，コシオカマ，センニンソウ，ヒキオコシ，ノフキ，イノモトソウ，イヌシテ，田の畔では、スカキビ，ヌメリクサ，ヒテリコ，ウシクタ，カヤツリクサ，コゴメカヤツリ，又山麓にもじつて、コウヤフラビ，フモトシタ，フユノハナフラビ，サトメシタ，ムカゴイラクサ，ヤマハセ，チャセンシタ，ニカキ，ウゴギ，トリカフト，ジユウモンジシタ等數多くあつた。西山、西光寺大佛の遺跡で採集品の整理をする。附近には昔の石佛が何十体となく安置されて朝倉氏時代の華やかさを覺ぶ。

此處から県道に出て安波賀、城戸の内、一乗谷小学校へと旧一乗谷城社をたどりつつ進む。

ヤマイ，テンツキ，ヒヂリコ，シロネ，クロバナヒキオコシ，サマスカクサ，ノユンギタ，キクイモ，ツリフネソウ，アキノウナギツカミ，カラスウリ，ボタンズル，コウモリカズラ，エビスマメ，等を採集す。東新町附近では

オノマンネンクサ，メノマンネンタサ，トラノオシタ，チャセンシタ，ハルユキノシタ，サンインヒキオコシ，ミヤマミズ，アカバナ，キツリフネ，ヤタシソウ，コマナ，コシオガマ，ヒキオコシ等を採集す。

附近の畠には桑が実り、家の庭にはケイトウ，エウカオガが咲き、チョウセンガヤ等を

(孫)

多く見かける。

時頃一糸庵に着き、一同庵を見ながら昼食を取る。庵は附近の溪流と天に雄大な眺めである。紅葉の頃はさぞ美麗だろうと語り合つた。

谷の向う岸には、リヨウメンシタ、イノテ、ウワバミソウ、等が一面に茂っている。北岸にはイタビカズラ、マルバマンネンクサ等を見る。昼食後越山に向つて出発したが途中は、オトコヘシ、キツリフネソウ、ツリフネソウ等の花が咲き乱れでいるが特に夜したもののは採集せず、時間の都合で途中で引かえして、乗教寺まで歩き、帰路につく。

(荒川九矢衛記)

南條郡芋平方面植物採集記

昭和31年10月10日南條郡芋平方面に於て植物採集会を開催した。参加者は順化小学校の児童2名の外に河原、三田、八田、三村、坂本、堀の諸氏。

秋晴れのよい天気で秋の植物の観察に美しい一日でした。以下簡単に観察した植物を報告します。

北陸線湯尾駅に下車、駅附近で採集し、湯尾から自動車で小倉谷に行き、小倉から芋平まで採集、芋平分教場で昼食をとり、蓮如上人遺跡の地に参り又時頃帰途についた。

湯尾駅附近の水田路傍には、トウコギ、ヒメクク、ホシクサ、イスノヒケ、サクラタデ、ヤナギタデ、ホントクタデ、イヌタデ、カマツリクサ、コゴメガヤツリ、スメリクサ、サヤヌカクサ、スカキビ、コブナクサ、アシボシ、ハイヌメリ、トタシバ、カゼクサ、チカラシバ、エノコロクサ、キンエノコロ、イスビエ、ハナイバナ、クワクサ、ノコンギク、ヨメナ等の草木を見る。

小倉谷から谷川にそって行く、イヌタデ、ハナタデ、ナギナタコウジュ、イヌコウジュ、ヒメジソ、ツリフネサウ等よく開花して実に美しい。タンドボロギク、アメリカセンダンクサ等の帰化植物がよく茂っている。

瀬戸部落のお宮にケヤキの大木がある。谷川の両岸にウラジロカシ、シラカシ、クマシタ、ハイイヌカズレ、チャボガヤ、ニガキ等の木本が残っている。道路附近の山地には、ヤクシソウ、シラヤマギク、シロヨメナ、アキノキリンソウ、ヤマニカナ、ユウカギク、タンドボロギク、ヒメムカシヨモギ、ヒヨドリバナ、サンシチソウ、シラヤマギク等の菊科植物が開花し、ナギナタコウジュ、カワミドリ、カラスノゴマ等の混生しているのを見る。木本には、ケンホナシ、コマユミ、ハクウンホク、イヌシテ、キブシ、アカシテ等がある。